

理研シンポジウム 第18回 分析・解析技術と化学の最先端

日時: 2017年12月12日(火) 12:50 - 17:35

会場: 鈴木梅太郎記念ホール(和光市広沢2-1)

協賛: 日本化学会, 日本農芸化学会, 日本薬学会

高温超伝導技術による世界最高磁場1020MHz NMRの開発

高橋 雅人 (理研CLST)

固体NMRの無機材料への応用 ~複合アニオン化合物を中心に~

野田 泰斗 (京大院・理)

ドナー・アクセプター型シクロプロパンの高立体選択的反応の開発と
リグナン全合成への応用

西井 良典 (信州大繊維)

New Mass Spectrometric Applications using Atmospheric Pressure and
Super-atmospheric Pressure Ionization Techniques

チェン リーチュイン (山梨大)

創薬の推進に資する近原子分解能クライオ電顕構造解析技術

宮崎 直幸 (阪大蛋白研)

代謝の海での鍵探し: 生命現象を解き明かすツールとしてのメタボロミクス

草野 都 (筑波大生命環境系, 理研CSRS)



参加費: 無料 意見交換会: 17:50- 広沢クラブ (会費4,000円, 学生2,000円)

参加申込・問合せ先: 国立研究開発法人理化学研究所

環境資源科学研究センター 技術基盤部門 分子構造解析ユニット

越野 広雪 E-mail: koshino@riken.jp